

今後予想される CASE STUDIES

CASE STUDY 3

使い終わった時に次の使い方が始まる服。

2つの使い途を行き来する服。

不要になるまでの時間を長くする事のメリットは多い。

(写真はデザイナーの過去の作品から)

用途
が
変
わ
る
服



な
る
べ
く
省
い
た
服

CASE STUDY 4

楽な服を着る場面がふえた。

それならば仕様ももっと楽で良いと思う。

「付いていることがあたりまえになっている物」

「名残でしかない物」

それらは実は無駄な物かも知れない。

(写真はデザイナーの過去の作品から)

「なぜ」 その検証が何を解決出来るのか？

「どうして」 どんな問題意識からその検証になったのか？

「もしかしたら」 実際に買える CASE STUDIES はあるのか？

「ほんとに」 CASE STUDY B が入荷するとすぐ売れるって本当か？！

ASK



有限会社パーフェクトラボラトリー 担当 / 城島 090-2629-8999

johjima@syd.odn.ne.jp